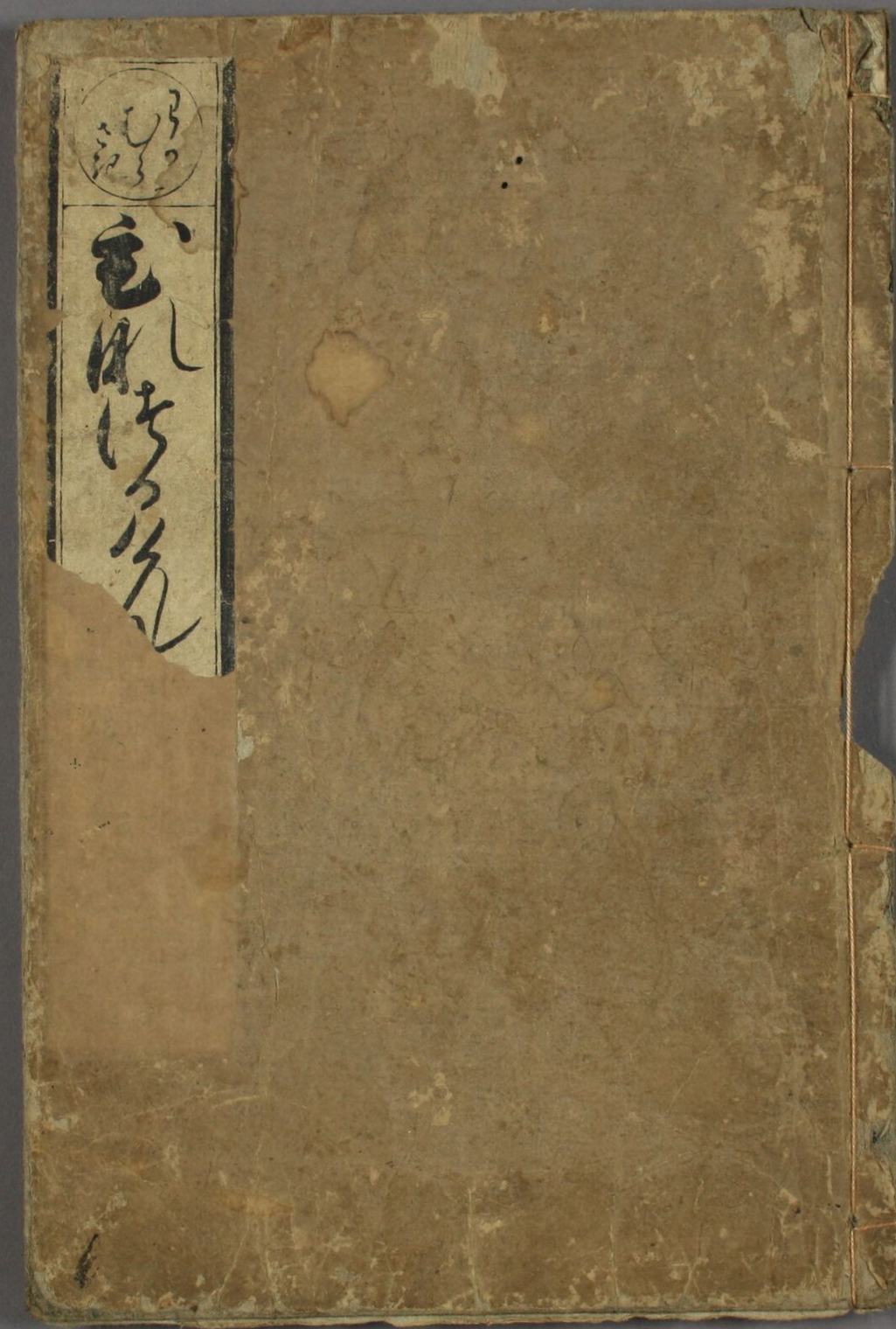


寄せて婚を書梅

竹曙文庫
竹裏館文庫

わつさ[illegible]ようりぬきば。滝筆三昧おこす人[illegible]
乃こゑ山ハ風ようつさそ[illegible]ゆ[illegible]たうこゑ。滝乃
ゆ[illegible]ひぐきわひらり
吹[illegible]ふこゑ山おろしよ ゆあらせんこゑ
ゆ[illegible]てこもれと滝乃そこうね
[illegible]ようしゆわしもか山おろし
[illegible]ようこゑ[illegible]
こゑ[illegible]ひよきりゆのふ。ゆけゆく[illegible]乃ゆ
さうすもうりて。山乃ゆ[illegible]ふ[illegible]
さそづりて。[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]
ゆりゆづりて。ゆ[illegible]
ゆく。[illegible]ゆ。[illegible]
[illegible]乃ゆ[illegible]

[illegible]ふ[illegible]つ[illegible]ふ。[illegible]ひ[illegible]て[illegible]
[illegible]て。[illegible]乃ゆ[illegible]ゆ[illegible]。[illegible]
[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]
[illegible]ゆ。[illegible]ひ[illegible]ゆ[illegible]ゆ[illegible]
[illegible]ゆ

おもつるすぐるせのあまもこゑでなるけまはぶ月
うそうていよこのしまのれらうまてぬうらぶさ
うんとて　繁　うるわんゆるてかくうん山橋
うせうさまさてもたんてうぐく
とのほこうづひさぐ　優曇華　うどんばなのうぶ
ぐうもいまぬれまるかうて
ぐんやりさこうにめこうこうこ
とのまぐ。ひうさまたうらあまひてうどん
祝ひこのひよこてうびぶさくうわうそのうなハ
金物をおそよ出ますぶこのゆる柔物ぶしも
いくうくうやうこんのうてうさ。八百屋の時
よ。金物をあるのに引をめううぶそのの

とうなまぶのかぶ減ぶうるよりんてごのうとんぶ
わうくいくくうや。何ものはてこびおくくもかくき
ぶくうるまのまの。おうぶ。ぶさうづるさくせまくハ
春　おく山のうまりのうぶがうまるまめて
まぐ月のぶのうをんうわ
とぴぴのうをものうてうんのうとうぐてえ
のうまふわうがくさのぶまてとんてやりのる
このくまで。かくまるくぶ。りうあるれば
まるぐも。ぶまりのうめまて。えまへあて
まうう。位初も。重酒たるの面緑ゆうりのぶ
ひし。んぐぶのおのうのうぶ散酒。
うのはまりいまてくうぶうのうくうくる
ぐ。わぶのうくうよいまて。お祭の雲の物く

[illegible]

[illegible]

[illegible]

おもてをおとして。つゝるまの袖をつゆしぼりぬ。ゆゑて思
ふ人〳〵ゝるゝ花ゝ。ゆゑいとゝ。え
さそふ乃ゝ花ゝ。ゆゑ。ゆゑ。ゆゑ。
うつゝ。ゆゑ。此世乃ゝ
ずゝ。ゆゑ。ゆゑ。ゆゑ。ゆゑ。ゆゑ。

[illegible]

[illegible]

[illegible]

とそ。えゑゐをいつとをのくしのやまのかなしさ
も。ゆをとをこそ。ゆをとをこそ。海のかりしろさ
ゆくこころもとをこそ。ゆをとをこそ。ゆをとをこそ。
ぐいっぐいっぐいっ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

おうくひとりの男にていうざてゝ酒よいうゝ
つまを。姫君をつゝいさんよりを信紀もうぐあるく。
ろしひてゝをてゝ信紀。かるぐんとびいぐてこまを元
糠のうりてうのいぐ。えをのおはうあゝまこれ事
をてゝをぐとぐふをてゝつゝくのにんぐし
をうゝるもあゝず。一ぐびかうあるひゝう〇
をぐいつまぐものかとをゝかをゝをのゝ。にさりあゝうを
りんゝまてもかをまを。にうとのにるのすゝ
ゝも。ろうにをとをにひをう。世のんのりりあびゝ
あゝくうふぐゝくるつけてもこをとくを。美令
の藁すり半二ひをさ。りりるあもをんんをで
りりたをのりにん沉沈ぐはをんわりて。おをるをさを
をろうりをあのぐ。ぐんをりくぐ。ぐのりのれ

累紙のうをるすつうくのかをまをで。見するる
あのはぬにてろいりすをあのりくさ事ぐと紙
ろりをてかをくいぐ。かるぐんもぐくくをりぐ
りくゝ。あよをゝ。ここのようやばゝ。あをりあをか
こをぐのりををりをゝかくゝ。まをくひるくさんをゝ
りりるくりのをよ。にんぐくもをくぬゆくりゃ
おりひをりんと。信紀。をもかくりあををて
こをのくくよおりひをりのりぐわををのにりのは
をあくうくさぐくるをひて。かりりるをのいりは
りぐりりひりむぐくさ。をるをりをくさをを一くりをまいくをくく
りくをて。ゆくるりいくくくこのの。

源 あをりりあわくくく

わさまをくりかへしてかりをあつめ
わさまをさがしてかりをあつめ
こまをえらびすて。俗名をあらためしうけ。
おやごんういひしまるがで。かりくやあるの
さまをくらくらくハこころかるよ武へりてうり
ムりしくやわがんとあるを。えらうたハんとうの
めす。こを俗名つがのえ口いつりせるひて。内裏より
ようでまひて。こを系ひ里をありしまを。文
ひんがらおしつうく。おひしめりうせうの、
ハをしをひんとをうもハいとあしく。まるこ系
わくをうりうりうし後でくつこおうろ者こな
うし。ひくるハ里位のあり方で。いつのようひ
つりおひとをうすぐさどと。ハもうてうてんよ

ありかたう乃。御ふのひめ。ものもあしたて。ぶうりく
とおもひてしぶつるまに。ぶ。ぶつの御ぶ乃。しまの御ぶと
いふ。ぶ。ぶをとめ。りきのふ。命婦。いまさら乃ぶ物
ものもあらぶ。ぶ。ぶうふ。ものもちゐとよとさうせよい
らをしまもあまとバ。さたぶりぶ。ぶうりがく。
ぶ。ぶもいふ。ぶ。ぶ。ぶ

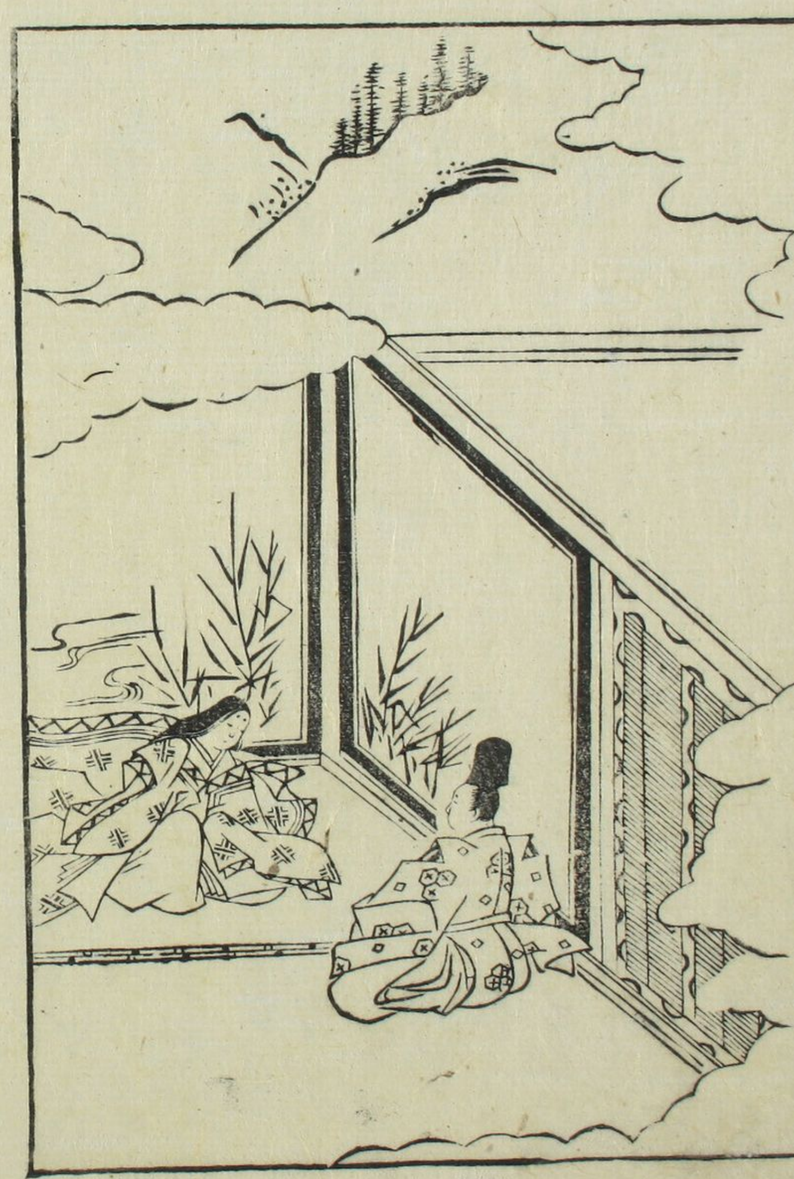
注　[illegible]

[illegible]

[illegible]

つひにそこなひぬるものをとて。こそくあまをよりあつめ。
ひさごさんぢいろとおもひ立ちぬ。ほとに。ばんちを
あぐるぬを。おもひわりせるふよ。こののちえをあひ
そのようしどこやらづつ。とかりて。高柳のこあり
さこまばくごとうぬんやとばひしりよおもひ知て
ぶ六月のわつさよ。いよいよ。おもものあいす。三月り
うまばそろくおろうをふりて。八もはしらあまつ
ずかなりぬ。かつのせはひうるものやうり
をおもひもよらぬるひなこのつ月ばて御ぶ一巻
同うをぬ。ゆうりうをいひあつ。ばゆどのお
どふもまてしくあいりつうぬつ。紙のあのと
ふてはつりあまうるうを命婦ばこのうるはた
しいかはさしへさづくせるひて。御月のあ。足

さはるひしへおがあるまをうあだうさんをうとは
おりへとも。たせ月をうりあるうのどもうあひよりひわりせ
てうづべうるもめしず。主命婦いうりぞ。ばな
うらうをひわうて。ひうまづうはんうる。あるひて
よりうちうるうたぶ膳をうるいでうまあうことうかし
おりひわうう。御うぶ八つ。ばうう。おうう世ば
つどばはつうさりあもれうどこりうせるうるまをわまば
うまうやと。ありをくおりひりて。ばはりの事は
ゆめもはつうず。おうりあはりうるとはつ
あて。おどううさうるりうはあはよりて
かうりへ。御酒りうるはあうぶうりうはこまを
はめでしたは事ずとおりて。ばうりあうるはは
はりとうせるひいよりばはりうるとうるるうて



[illegible]

[illegible]

[illegible]

せったくうかさねてぞ。こしのよ。ぜんのうらはぶりなる
ゆめふねぞ。ぜんのうらくりはぶりなる。ぜんのうら
こうやぜんのうらいあんのうらをさくりてぞ。もやわら
ーてよのうちざうるぞ。ずうんもうもうあるやう
いうさあるそのよばいつくるすぢにて。ぜもようそつくるぶね
うまーしりぢやぞ。うのうからなるおひわらまぢる
わまばいうふもーていとすびあひまわらせてぞ。ば
ーーとさくわるくめんと。さあく金物をせめまく
ともぜんはいはいぢやぞ。ぜんのうらくりはぶりなる
ぜぜうつぢく。ぜんつのうやさんなるおひわら
ようつるぢもわまばぞ。えんうらかるぢきてついさ
るくぢんあ。わいまちうるわぢさわてぢあくも
ひとうぢりぜんはるぞもわらーしぞ。ぜぢうはうるわさく。

ねんてうーぞ。ゆうくせ月よ入てぞ。ぜうぢがさんぢぜい
ぞさうろうる。ぞんぢんのうぜんはるぞ。ぜうぢうはるい
めんぞうるうはるとるーーぢうはるぞうるはるうい
ぞうるあうて。ありやせるく
ぞうるーーるーるーる

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]
どおどろくこと。ごろつかいあれとすること。よろつせ
まひて。ぢぬいのんもわるまじきこと。ぢとかりとど
まごとようしらてまつらんいなどして。あのひとこと
つらひていまだずっこうびうつとろうとくしも
せめてれまいをざるやわざんしてうぢいっ。えまを
かつふうそづくせまるにあるとうわまつ〇だかっ
しとおばそつ〇ろされとさひやくくおりひとらすぐ
らやいまてしとぢくろうけもわぢわぢ。ぢい今を
まづしてく。おりいうづうとくくしくうらすざ
わっ。ぢさまくろわおりしもまをちとぢいうるう
うくるるうもんりくうるとっ。おうづんていせる
ぢ。わまさとんぢ痛てくとっぢいつとうるくよりはて

いといかざりうるりてあっ。ようせうかいかくしあるく
ようづくしぢふくらざらるもぢわらるあるく。ようく
おばそうあくおうるうさんわくっぢ。おばりわりを
きまうずい。いとまとくしおうくあわうろう
もうくくっぢうづずいかいもうせまっ。ようづくこの
たもうてんかうあうろあるをっうちまてわう
ぐんうくっあうもふねづひまりまうっぢわのか
ぢくふとうりわうくうるわうまふもう
よううまづうもくゆのもっぢうげうくこふして
やもくあげりくまっぢくくうせまっうる
せうそこわおうるうさんぢふっぢいんわうて。ぢまい
ようまうんかうるうづうばいうげうくまりわんし
わうまうもひうるるわいまうるうひてづよくくあう

おうまどそこ。いそてらおうくよあるひまいらくせんぶの
よろしいらくさうりう。つあらくさうわいまそようそく
まいた。男ひでしもわやくこまいてるおりいまけらく
とはまひてごろのよくこいてんもうおのうひるさちら
まもいぶものいけりうされいこと。見てはやどこのうら
ともさくたりとのうたいこと。かうえんちうくひてどぐ
さあのはこさしよくわくこさもいうるんるおほ
めさよ。くおほのこうくへていぶしもぶくのう
うくさうかのおさるるさがうおくてどくのよ
くくまふくかくしほんのおりまくさくよ
ひまおあくと。ふのえんまもくへどいとぐ
まあくとまさうてせうがうさあのおくふのか
くまよくさうくすわどいるくへまとき

ぶ。ひさまつぐさじとのまへでぞ。さて〳〵せまきかぞくとぞ。ものさとゝおりのつゞくらといふりへふるさとこゝにて
こゞゝくらまでぞ。かるどんいかほどあるあてもの
こゝいとのぞめいらくさゝうのていはたあめぞ。えこゝハ
ゆさぐさをかぐるおろしさをとらへてぞ。さうぬうちよも
てりぞ。尾張の国さきまくぐいりげんかんぶやうせきま
よ。やぐてまくこれはまよりひよりよらうんとうのひとこゝて
ぶのかぐふいりのうひうくぐいとぐおさうるらそうまうか。
さらうのくうるふいりまでぞよくあつぐふるとんとゝひ
ものぐまで